

別添4 トラック、バス及びトレーラ用空気入タイヤの技術基準

1. 適用範囲

本技術基準は、専ら乗用の用に供する自動車（二輪自動車、側車付二輪自動車、三輪自動車及び被牽引自動車を除く。）であって乗車定員10人以上の自動車、貨物の運送の用に供する自動車三輪自動車及び（被牽引自動車を除く。）又は車両総重量3.5tを超える被牽引自動車に備えるものとして設計された空気入ゴムタイヤ（80km/h未満の速度に対応する速度区分によって識別されるタイヤを除く。以下「タイヤ」という。）に適用する。ただし、車両総重量3.5t以下の貨物の運送の用に供する自動車に備えるものは、本技術基準の適用に替えて、別添3「乗用車用空気入タイヤの技術基準」に定める基準を適用することができるものとし、法第75条の2第1項の規定に基づく装置の型式の指定を行う場合にあっては、3.1.5.3.3.の規定中「1.5%」を「1.0%」に、3.1.4.2.の規定中「5%」を「4%」に読み替える。

2. 用語の定義

2.1. 用途区分

- 2.1.1. 「一般道路用タイヤ」とは、通常の走行条件の下で、道路上で使用されることを目的としたタイヤをいう。
- 2.1.2. 「スノータイヤ」とは、トレッドパターン、トレッドコンパウンド又はトレッド構造が、雪路における自動車の運転に関し、一般道路用タイヤより優れた性能をもつことを優先として設計されたタイヤをいう。
- 2.1.3. 「特殊用途タイヤ」とは、不整地その他の特殊な走行条件（雪路を除く。）の下で使用されることを目的としたタイヤをいう。
- 2.1.3.1. 「プロフェッショナルオフロードタイヤ」とは、特殊用途タイヤのうち、特に厳しい走行条件の下で使用されることを目的としたタイヤをいう。
- 2.2. タイヤの「構造」とは、タイヤのカーカスの技術的特徴をいい、次の2.2.1. から2.2.2. に掲げる規定により識別を行う。
- 2.2.1. 「バイアスプライ」とは、プライコードがビードまで及んでおり、かつ、トレッドの中心線に対して実質的に90°未満の角度で配置されているタイヤの構造をいう。
- 2.2.2. 「ラジアルプライ」とは、プライコードがビードまで及んでおり、かつ、トレッドの中心線に対して実質的に90°の角度で配列され、カーカスが実質的に伸張しないコードの材料からなる周方向に配列されたベルトにより固定されているタイヤの構造をいう。
- 2.3. 「ビード」とは、リムに装着し、リム上にタイヤを保持するような形状と構造をもつタイヤの部分をいう。注1（説明図参照）
- 2.4. 「コード」とは、タイヤの中のプライの生地を構成する繊維線又は金属線をいう。
注1（説明図参照）
- 2.5. 「プライ」とは、ゴム被覆され平行に配列された撚り糸層をいう。注1（説明図参照）

2. 6. 「カーカス」とは、タイヤのトレッド部及びサイドウォール以外の部分をいい、空気充填時に荷重を支える部分をいう。注1（説明図参照）
2. 7. 「トレッド」とは、カーカスを機械的な損傷から保護し、地面に接地するタイヤの部分をいう。注1（説明図参照）
2. 8. 「サイドウォール」とは、トレッドとビードの間のタイヤの部分をいう。注1（説明図参照）
2. 9. 「タイヤ下部」とは、タイヤの最大断面幅の部位とリムのフランジによって覆われる部分の間の領域をいう。注1（説明図参照）
2. 9. 1. 「タイヤのリム組立形状」が記号「A」で識別されるタイヤの場合、2. 9. に規定する「タイヤ下部」とは、リム上に着座するタイヤの部分をいう。注1（説明図参照）
2. 10. 「トレッド溝」とは、トレッドのパターン内の隣接するリブ又はブロック間の空間をいう。注1（説明図参照）
2. 11. 「断面幅（S）」とは、空気を充填したタイヤのサイドウォールの外側間の直線距離をいう。ただし、タイヤ側面の文字、記号、模様、装飾部又は保護帯若しくはリブの隆起は除く。注1（説明図参照）
2. 12. 「総幅」とは、空気を充填したタイヤのサイドウォールの外側間の直線距離をいう。ただし、トレッドが断面幅より広いタイヤの場合、総幅はトレッド幅と同一とする。注1（説明図参照）
2. 13. 「断面高さ（H）」とは、タイヤの外径とリム径の呼びとの差の1/2の距離をいう。注1（説明図参照）
2. 14. 「偏平比の呼び（Ra）」とは、断面高さを表す数値（H）を断面幅の呼び（S₁）を示す数値で除し、得られる数を100倍した数値をいう。なお、それぞれの数値は同一単位で表すものとする。
2. 15. 「外径（D）」とは、空気を充填した新品タイヤの直径をいう。注1（説明図参照）
2. 16. 「タイヤサイズの呼び」
2. 16. 1. 「タイヤサイズの呼び」とは、次の2. 16. 1. 1. から2. 16. 1. 3. 1. に掲げる規定をいう。
2. 16. 1. 1. 断面幅呼び（S₁）。なお、別紙2の表に掲げるタイヤの呼びを除き、ミリメートルで表すこと。
2. 16. 1. 2. 偏平比の呼び、又はタイヤの設計の種類によってmm単位で表示される外径の呼び。ただし、タイヤサイズの呼びが別紙2の表に掲げるタイヤの場合は除く。
2. 16. 1. 3. リム径の呼びを示す記号「d」。この場合において、記号（100未満の数字）又はmm（100以上の数字）で示される値のいずれかで表すこと。

2. 16. 1. 3. 1. リム径の呼びを示す記号「d」に対応するミリメートルで示される値は、次の表によるものとする。

リム径の呼びを示す記号「d」	ミリメートルで示される「d」の値
8	203
9	229
10	254
11	279
12	305
13	330
14	356
15	381
16	406
17	432
18	457
19	482
20	508
21	533
22	559
24	610
25	635
14. 5	368
16. 5	419
17. 5	445
19. 5	495
20. 5	521
22. 5	572
24. 5	622
26	660
28	711
30	762

2. 16. 1. 4. タイヤのリム組立形状が標準形状と異なり、かつ、リム径コードの呼びを示す記号「d」で表示されていない場合は、当該リム組立形状を表示すること。
2. 17. 「リム径の呼び (d)」とは、ビードを組み立てられるために設計されたリムの直径をいう。注1（説明図参照）

2. 18. 「リム」とは、ビードが組み立てられる支持物をいう。注1（説明図参照）
2. 18. 1. 「タイヤのリム組立形状」とは、当該タイヤを組み立てるために設計されたリムの種類をいう。標準以外のリムの場合、この形状は、「CT」、「TR」、「TD」又は「A」など、当該タイヤにつけられた記号によって識別する。
2. 19. 「理論リム」とは、そのリム幅がタイヤの断面幅の呼びのX倍に等しい理論上のリムをいう。この場合においてXは、タイヤ製作者が指定した値とする。
2. 20. 「測定リム」とは、寸法測定のためにタイヤが組み立てられるリムをいう。
2. 21. 「試験リム」とは、試験のためにタイヤが組み立てられるリムをいう。
2. 22. 「チャンキング」とは、トレッドからゴム片が脱落することをいう。
2. 23. 「コードセパレーション」とは、コードがそのゴム被覆から剥離することをいう。
2. 24. 「プライセパレーション」とは、隣接するプライが剥離することをいう。
2. 25. 「トレッドセパレーション」とは、トレッドがカーカスから剥離することをいう。
2. 26. 「ロードインデックス」とは、単輪又は複輪によりタイヤが運搬することができる最大質量を示す指数をいう。また、タイヤは、3. 2. 5. が適用されるか否かにより、1つ又は2つのロードインデックスを持つことができる。この指数及び運搬することができる最大質量は別紙1に示す。
2. 27. 速度区分
2. 27. 1. 「速度区分」とは、タイヤがロードインデックスで表示された荷重を運搬できる速度を記号で表したものをいう。
2. 27. 2. 速度区分記号に対応する速度は次の表によるものとする。

速度区分記号	速度 (km/h)
F	80
G	90
J	100
K	110
L	120
M	130
N	140
P	150
Q	160
R	170
S	180
T	190
U	200
H	210

2. 28. 「異なる速度における負荷能力」とは、別紙5に示す表により速度記号に対応する速度における負荷能力を基準として、それ以外の速度で使用される場合のタイヤの負荷

能力の変化を示す。

2. 29. 「間隙比」とは、金型の図面を基に算出したトレッドパターン溝の面積とトレッドとの面積の比をいう。
2. 30. 「タイヤクラス」とは、次の2. 30. 1. 及び2. 30. 2. に規定するものをいう。
 2. 30. 1. 「クラスC2タイヤ」とは、単輪でのロードインデックスが121以下及び速度区分記号が「N」、「P」、「Q」、「R」、「S」、「T」、「U」又は「H」で分類されるタイヤをいう。
 2. 30. 2. 「クラスC3タイヤ」とは、次の2. 30. 2. 1. 又は2. 30. 2. 2. の条件を満たすタイヤをいう。
 2. 30. 2. 1. 単輪でのロードインデックスが122以上であること
 2. 30. 2. 2. 単輪でのロードインデックスが121以下及び速度区分記号が「F」、「G」、「J」、「K」、「L」又は「M」で分類されるものであること

3. 要件

3. 1. タイヤの寸法

3. 1. 1. タイヤの断面幅

3. 1. 1. 1. 断面幅は、次の式により求めるものとする。

$$S=S_1+K(A-A_1)$$

この場合において

S は、測定リムで測定した断面幅（単位 mm）

S_1 は、断面幅の呼び（単位 mm）

A は、製作者が定めた測定リムの幅（単位 mm）

A_1 は、理論リムの幅（単位 mm）

A_1 は、製作者の指定した係数 X を S_1 に乗じた値

K は、0. 4

3. 1. 1. 2. 別紙2の表に掲げるタイヤサイズの呼びの断面幅は、その表のタイヤサイズの呼びに対応して記載された断面幅と見なすものとする。
3. 1. 1. 3. 「タイヤのリムの組立形状」が記号「A」で識別されたタイヤの場合、 K は0. 6に等しくしなければならない。

3. 1. 2. タイヤの外径

3. 1. 2. 1. タイヤの外径は、次の式により求めるものとする。

$$D=d+2H$$

この場合において、

D は、外径（単位 mm）

d は、2. 16. 1. 3. で規定された数値

H は、断面高さの呼びで、 S_1 （断面幅の呼び） $\times 0.01$ R_a （偏平比の呼び）に等しい数値（単位 mm）

3. 1. 2. 2. 別紙2の表にタイヤサイズの呼びが記載されているタイヤサイズの呼びの外径

は、その表のタイヤサイズの呼びに対応する外径とする。

3. 1. 2. 3. 「タイヤのリムの組立形状」が記号「A」で識別されたタイヤの場合、外径はタイヤのサイドウォールに表示されたタイヤサイズの呼びに示されたものとする。

3. 1. 3. タイヤの測定方法

タイヤの寸法は、別紙3の手順で測定すること。

3. 1. 4. タイヤ断面幅の仕様

3. 1. 4. 1. タイヤの総幅は、3. 1. 1. の規定により求めた断面幅未満とすることができる。

3. 1. 4. 2. タイヤの総幅は、3. 1. 1. に規定する値をラジアルプライタイヤの場合にあっては5%、バイアスプライタイヤの場合にあっては8%を上回ってはならない。ただし、断面幅が305mmを超える複輪用タイヤの場合であって、偏平比が60を超えるラジアルプライタイヤの場合にあっては3. 1. 1. により決定される値の2%、バイアスプライタイヤの場合にあっては4%を上回ってはならない。

3. 1. 4. 3. 「タイヤのリムの組立形状」が記号「A」で識別されるタイヤの場合、タイヤの総幅はタイヤの下部において、タイヤが組み立てられたリムの幅（製作者が注意書きに記述したもの）に27mmを加えた数値とする。

3. 1. 5. タイヤ外径の仕様
タイヤの外径は、次の式により得られたDmin及びDmaxの値の範囲になければならない。

$$D_{min}=d+(2H\times a)$$

$$D_{max}=d+(2H\times b)$$

3. 1. 5. 1. 別紙2に掲げるタイヤサイズの呼び及び「タイヤのリムの組立形状」が記号「A」で識別されるタイヤの場合、断面高さの呼び（H）は次の式による。

$$H=0.5(D-d)$$

この場合において、

Dは、外径（単位 mm）

dは、2. 16. 1. 3. で規定された数値

3. 1. 5. 2. 別紙2の表にないタイヤの場合、「H」及び「d」は3. 1. 2. 1. に規定されたものとする。

3. 1. 5. 3. 係数「a」及び「b」は次の3. 1. 5. 3. 1. 及び3. 1. 5. 3. 2. のとおりとする。

3. 1. 5. 3. 1. 係数「a」=0. 97

3. 1. 5. 3. 2. 係数「b」

	ラジアルプライ	バイアスプライ
一般用途のタイヤ	1. 04	1. 07
特殊用途のタイヤ	1. 06	1. 09

3. 1. 5. 3. 3. スノータイヤにあっては、3. 1. 5. で算出した外径（Dmax）を、更に1. 5%上回ることができる。

3. 2. 負荷／速度耐久試験

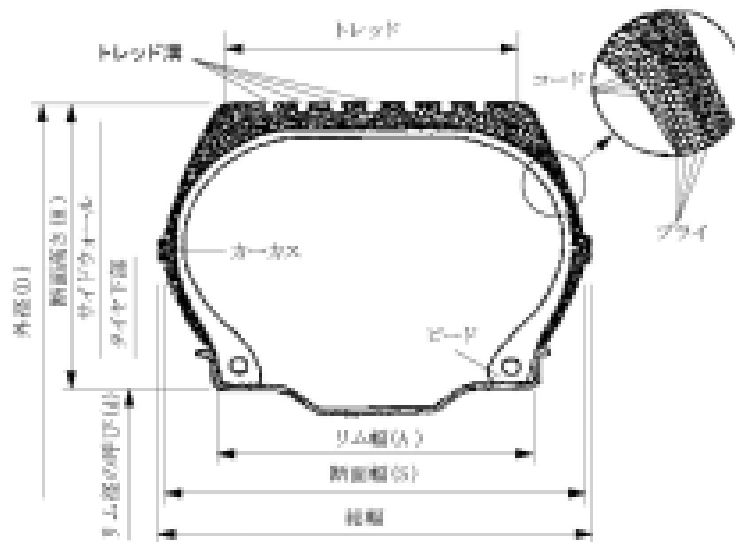
- 3. 2. 1. タイヤは、別紙4の手順により実施する負荷／速度耐久試験を受けなければならない。
- 3. 2. 2. 耐久試験を受けた後において、トレッドセパレーション、プライセパレーション、コードセパレーション、チャンキング又はコード切れが見られないタイヤは、試験に合格したものと見なすものとする。
- 3. 2. 3. 負荷／速度耐久試験の6時間後に測定したタイヤの外径は、試験前に測定したタイヤの外径の±3. 5%未満でなければならない。別紙4付録1の表2、表3及び表4を適用する試験の場合を除く。
- 3. 2. 4. 別紙5の表に規定された負荷／速度の組合せのタイヤの場合、3. 2. 1. で規定する耐久試験は、タイヤに表示するロードインデックス及び速度区分記号以外の負荷及び速度値については実施する必要はない。
- 3. 2. 5. 別紙5の表に規定された速度と負荷の変動に従った負荷／速度の組合せに加え、別の負荷／速度の組合せをもつタイヤは、3. 2. 1. に規定した耐久試験を追加する負荷／速度の組合せにより同一型式の2本目のタイヤで実施しなければならない。

3. 3. トレッドパターンの設計

- 3. 3. 1. 特殊用途タイヤは、次の3. 3. 1. 1. 又は3. 3. 1. 2. の要件を満たさなければならない。
 - 3. 3. 1. 1. C2タイヤの場合：
 - (1) トレッドパターン溝の深さ $\geq 11\text{mm}$
 - (2) 間隙比 $\geq 35\%$
 - 3. 3. 1. 2. C3タイヤの場合：
 - (1) トレッドパターン溝の深さ $\geq 16\text{mm}$
 - (2) 間隙比 $\geq 35\%$
- 3. 3. 2. プロフェッショナルオフロードタイヤは、次の3. 3. 2. 1. 又は3. 3. 2. 2. の要件を満たさなければならない。
 - 3. 3. 2. 1. C2タイヤの場合：
 - (1) トレッドパターン溝の深さ $\geq 11\text{mm}$
 - (2) 間隙比 $\geq 35\%$
 - (3) 速度区分記号が「N」、「P」又は「Q」で分類されるものであること
 - 3. 3. 2. 2. C3タイヤの場合：
 - (1) トレッドパターン溝の深さ $\geq 16\text{mm}$
 - (2) 間隙比 $\geq 35\%$
 - (3) 速度区分記号が「F」、「G」、「J」又は「K」で分類されるものであること
- 3. 4. 表示
 - 3. 4. 1. タイヤには次の3. 4. 1. 1. から3. 4. 1. 10. に掲げる事項を表示すること。
 - 3. 4. 1. 1. タイヤ製作者の商号、又は商標

- 3. 4. 1. 2. 2. 16. 1. 1. で規定する断面幅の呼び。ただし、負荷能力をアルファベットで示すタイヤは除く。
- 3. 4. 1. 3. 2. 16. 1. 2. で規定する偏平比の呼び。ただし、別紙2に掲げるタイヤを除く。
- 3. 4. 1. 4. 2. 16. 1. 3. で規定するリム径の呼びを示す記号
- 3. 4. 1. 5. バイアスプライタイヤの場合、リム径の呼びの前は無表示又は文字「D」
- 3. 4. 1. 6. バイアスベルテッドタイヤの場合、リム径の呼びの表示の前に文字「B」を表示すること。なお、それに加えて「BIAS-BELTED」を追加することができる。
- 3. 4. 1. 7. ラジアルプライタイヤの場合、リム径の呼びの表示の前に文字「R」を表示すること。なお、それに加えて「RADIAL」を追加することができる。
- 3. 4. 1. 8. スノータイヤの場合、「M+S」、「M・S」、「M&S」又はこれに準じた表示
- 3. 4. 1. 9. チューブレスタイヤの場合、「TUBELESS」
- 3. 4. 1. 10. 製作時期を示す記号
- 3. 4. 1. 11. 特殊用途タイヤの場合、「MPT」、「ML」、「ET」又は「POR」

説明図（本指定基準2. 参照）



別紙1

ロードインデックスに対応する負荷能力

ロードインデックス	最大負荷 (kg)	ロードインデックス	最大負荷 (kg)	ロードインデックス	最大負荷 (kg)
60	250	115	1215	170	6000
61	257	116	1250	171	6150
62	265	117	1285	172	6300
63	272	118	1320	173	6500
64	280	119	1360	174	6700
65	290	120	1400	175	6900
66	300	121	1450	176	7100
67	307	122	1500	177	7300
68	315	123	1550	178	7500
69	325	124	1600	179	7750
70	335	125	1650	180	8000
71	345	126	1700	181	8250
72	355	127	1750	182	8500
73	365	128	1800	183	8750
74	375	129	1850	184	9000
75	387	130	1900	185	9250
76	400	131	1950	186	9500
77	412	132	2000	187	9750
78	425	133	2060	188	10000
79	437	134	2120	189	10300
80	450	135	2180	190	10600
81	462	136	2240	191	10900
82	475	137	2300	192	11200
83	487	138	2360	193	11500
84	500	139	2430	194	11800
85	515	140	2500	195	12150
86	530	141	2575	196	12500
87	545	142	2650	197	12850
88	560	143	2725	198	13200
89	580	144	2800	199	13600
90	600	145	2900	200	14000
91	615	146	3000		
92	630	147	3075		
93	650	148	3150		
94	670	149	3250		
95	690	150	3350		
96	710	151	3450		
97	730	152	3550		
98	750	153	3650		
99	775	154	3750		
100	800	155	3875		
101	825	156	4000		
102	850	157	4125		
103	875	158	4250		
104	900	159	4375		
105	925	160	4500		
106	950	161	4625		
107	975	162	4750		
108	1000	163	4875		
109	1030	164	5000		
110	1060	165	5150		
111	1090	166	5300		
112	1120	167	5450		
113	1150	168	5600		
114	1180	169	5800		

別紙2

タイヤサイズの呼びと寸法

タイヤサイズの呼びが次に掲げる表に記載がなく、かつ、タイヤに断面幅及び偏平比の呼びの表示がないタイヤの測定リム幅コード、外径、断面幅及びリム径の呼びにあつては、タイヤ製作者の指定する値を用いることができる。

パート1

表A

5度テーパールーム又は平底ルームに組み付けられるタイヤ(ラジアルプライ及びバイアスプライ)

タイヤサイズの呼び (注1)	測定リム幅 コード	リム径の呼び d (mm)	外径 D (mm)		断面幅 S (mm)	
			ラジアルプライ	バイアスプライ	ラジアルプライ	バイアスプライ
4. 00R8 (注2)	2. 50	203	414	414	107	107
4. 00R10 (注2)	3. 00	254	466	466	108	108
4. 00R12 (注2)	3. 00	305	517	517	108	108
4. 50R8 (注2)	3. 50	203	439	439	125	125
4. 50R10 (注2)	3. 50	254	490	490	125	125
4. 50R12 (注2)	3. 50	305	545	545	125	128
5. 00R8 (注2)	3. 00	203	467	467	132	132
5. 00R10 (注2)	3. 50	254	516	516	134	134
5. 00R12 (注2)	3. 50	305	568	568	134	137
6. 00R9	4. 00	229	540	540	160	160
6. 00R14C	4. 50	356	626	625	158	158
6. 00R16 (注2)	4. 50	406	728	730	170	170
6. 50R10	5. 00	254	588	588	177	177
6. 50R14C	5. 00	356	640	650	170	172
6. 50R16 (注2)	4. 50	406	742	748	176	176
6. 50R20 (注2)	5. 00	508	860	—	181	—
7. 00R12	5. 00	305	672	672	192	192
7. 00R14C	5. 00	356	650	668	180	182
7. 00R15 (注2)	5. 00	381	746	752	197	198
7. 00R16C	5. 50	406	778	778	198	198
7. 00R16	5. 50	406	784	774	198	198
7. 00R20	5. 50	508	892	898	198	198
7. 50R10	5. 50	254	645	645	207	207
7. 50R14C	5. 50	356	686	692	195	192
7. 50R15 (注2)	6. 00	381	772	772	212	212
7. 50R16 (注2)	6. 00	406	802	806	210	210
7. 50R17 (注2)	6. 00	432	852	852	210	210
7. 50R20	6. 00	508	928	928	210	213
8. 25R15	6. 50	381	836	836	230	234
8. 25R16	6. 50	406	860	860	230	234
8. 25R17	6. 50	432	886	895	230	234
8. 25R20	6. 50	508	962	970	230	234
9. 00R15	6. 00	381	840	840	249	249
9. 00R16 (注2)	6. 50	406	912	900	246	252
9. 00R20	7. 00	508	1018	1012	258	256
10. 00R15	7. 50	381	918	918	275	275
10. 00R20	7. 50	508	1052	1050	275	275
10. 00R22	7. 50	559	1102	1102	275	275
11. 00R16	6. 50	406	980	952	279	272
11. 00R20	8. 00	508	1082	1080	286	291
11. 00R22	8. 00	559	1132	1130	286	291
11. 00R24	8. 00	610	1182	1180	286	291
12. 00R20	8. 50	508	1122	1120	313	312
12. 00R22	8. 50	559	1174	1174	313	312

12. 00R24	8. 50	610	1226	1220	313	312
13. 00R20	9. 00	508	1176	1170	336	342
14. 00R20	10. 00	508	1238	1238	370	375
14. 00R24	10. 00	610	1340	1340	370	375
16. 00R20	13. 00	508	1370	1370	446	446
12/80R20	8. 50	508	1008	—	305	—
13/80R20	9. 00	508	1048	—	326	—
14/80R20	10. 00	508	1090	—	350	—
14/80R24	10. 00	610	1192	—	350	—
14. 75/80R20	10. 00	508	1124	—	370	—
15. 5/80R20	10. 00	508	1158	—	384	—
7. 50R18MPT	5. 50	457	885			208
10. 5R18MPT	9. 00	457	905		276	270
10. 5R20MPT	9. 00	508	955		276	270
12. 5R18MPT	11. 00	457	990		330	325
12. 5R20MPT	11. 00	508	1040		330	325
14. 5R20MPT	11. 00	508	1095		362	355
14. 5R24MPT	11. 00	610	1195		362	355
4. 10/3. 50－6	2. 5	152	—	320	—	95
3. 50－8	2. 5	203	—	394	—	103
4. 40－10	3. 5	254	—	480	—	124

注1 バイアスプライのタイヤは、文字「R」の代わりに「－」を付けて識別する（例：5. 00－8）。

2 タイヤサイズの呼びには文字「C」を補足してもよい（例：6. 00－16C）。

表B

15度テーパリムに取り付けられるサイズラジアルプライ

タイヤサイズの呼び	測定リム幅 コード	リム径の呼び d (mm)	外径 D (mm)	断面幅 S (mm)
7R17. 5（注1）	5. 25	445	752	185
7R19. 5	5. 25	495	800	185
8R17. 5（注1）	6. 00	445	784	208
8R19. 5	6. 00	495	856	208
8R22. 5	6. 00	572	936	208
8. 5R17. 5	6. 00	445	802	215
9R17. 5	6. 75	445	820	230
9R19. 5	6. 75	495	894	230
9R22. 5	6. 75	572	970	230
9. 5R17. 5	6. 75	445	842	240
9. 5R19. 5	6. 75	495	916	240
10R17. 5	7. 50	445	858	254
10R19. 5	7. 50	495	936	254
10R22. 5	7. 50	572	1020	254
11R22. 5	8. 25	572	1050	279
11R24. 5	8. 25	622	1100	279
12R22. 5	9. 00	572	1084	300
13R22. 5	9. 75	572	1124	320
15R19. 5	11. 75	495	998	387
15R22. 5	11. 75	572	1074	387
16. 5R19. 5	13. 00	495	1046	425
16. 5R22. 5	13. 00	572	1122	425
18R19. 5	14. 00	495	1082	457
18R22. 5	14. 00	572	1158	457
10/70R22. 5	7. 50	572	928	254
11/70R22. 5	8. 25	572	962	279
12/70R22. 5	9. 00	572	1000	305
13/70R22. 5	9. 75	572	1033	330

注1 タイヤサイズの呼びには文字「C」を補足することができる。（例：7R17. 5C）

表C

小型トラックタイヤラジアルプライ及びバイアスプライ

タイヤサイズの呼び	測定リム幅 コード	リム径の呼び d (mm)	外径 D (mm)		断面幅 S (mm)	
			ラジアルプライ	バイアスプライ	ラジアルプライ	バイアスプライ
145R10C	4. 00	254	492	—	147	—
145R12C	4. 00	305	542	—	147	—
145R13C	4. 00	330	566	—	147	—
145R14C	4. 00	356	590	—	147	—
145R15C	4. 00	381	616	—	147	—
155R12C	4. 50	305	550	—	157	—
155R13C	4. 50	330	578	—	157	—
155R14C	4. 50	356	604	—	157	—
165R13C	4. 50	330	596	—	167	—
165R14C	4. 50	356	622	—	167	—
165R15C	4. 50	381	646	—	167	—
175R13C	5. 00	330	608	—	178	—
175R14C	5. 00	356	634	—	178	—
175R16C	5. 00	406	684	—	178	—
185R13C	5. 50	330	624	—	188	—
185R14C	5. 50	356	650	—	188	—
185R15C	5. 50	381	674	—	188	—
185R16C	5. 50	406	700	—	188	—
195R14C	5. 50	356	666	—	198	—
195R15C	5. 50	381	690	—	198	—
195R16C	5. 50	406	716	—	198	—
205R14C	6. 00	356	686	—	208	—
205R15C	6. 00	381	710	—	208	—
205R16C	6. 00	406	736	—	208	—
215R14C	6. 00	356	700	—	218	—
215R15C	6. 00	381	724	—	218	—
215R16C	6. 00	406	750	—	218	—
245R16C	7. 00	406	798	798	248	248
17R15C	5. 00	381	678	—	178	—
17R380C	5. 00	381	678	—	178	—
17R400C	150mm	400	698	—	186	—
19R400C	150mm	400	728	—	200	—
5. 60R12C	4. 00	305	570	572	150	148
6. 40R13C	5. 00	330	648	640	172	172
6. 70R13C	5. 00	330	660	662	180	180
6. 70R14C	5. 00	356	688	688	180	180
6. 70R15C	5. 00	381	712	714	180	180

注1 バイアスプライのタイヤは、文字「R」の代わりに「—」を付けて識別する（例：145—10C）。

表D

特殊用途用タイヤラジアルプライ及びバイアスプライ

タイヤサイズの呼び (注1)	測定リム幅コード	リム径の呼び d (mm)	外 径 D (mm)	断面幅 S (mm)
15x4 1/2-8	3. 25	203	385	122
16x6-8	4. 33	203	425	152
18x7	4. 33	203	462	173
18x7-8	4. 33	203	462	173
21x8-9	6. 00	229	535	200
21x4	2. 32	330	565	113
22x4 1/2	3. 11	330	595	132
23x5	3. 75	330	635	155
23x9-10	6. 50	254	595	225
25x6	3. 75	330	680	170
27x10-12	8. 00	305	690	255
28x9-15	7. 00	381	707	216
200-15	6. 50	381	730	205
250-15	7. 50	381	735	250
300-15	8. 00	381	840	300
16. 5x6. 5-8	5. 375	203	411	165

注1 ラジアルプライのタイヤは「-」の代わり「R」を付けて識別する。(例：15x4 1/2 R 8)

パート2

各表の注書きの公差は、3. 1. 4. 2. 及び3. 1. 5. 3. で規定される公差に代わり適用する。

外径は、一般、スノー、特殊の各用途区分について掲げている。

表A

小型トラック用タイヤ（LTタイヤ） ラジアルプライ及びバイアスプライ

タイヤサイズの呼び (注1)	測定リム幅 コード	リム径の呼び d (mm)	外径 D (mm) (注2)		断面幅 S (mm) (注3)
			一般	スノー	
6.00-16LT	4.50	406	732	743	173
6.50-16LT	4.50	406	755	767	182
6.70-16LT	5.00	406	722	733	191
7.00-13LT	5.00	330	647	658	187
7.00-14LT	5.00	356	670	681	187
7.00-15LT	5.50	381	752	763	202
7.00-16LT	5.50	406	778	788	202
7.10-15LT	5.00	381	738	749	199
7.50-15LT	6.00	381	782	794	220
7.50-16LT	6.00	406	808	819	220
8.25-16LT	6.50	406	859	869	241
9.00-16LT	6.50	406	890	903	257
G78-15LT	6.00	381	711	722	212
H78-15LT	6.00	381	727	739	222
L78-15LT	6.50	381	749	760	236
L78-16LT	6.50	406	775	786	236
7-14.5LT (注4)	6.00	368	677		185
8-14.5LT (注4)	6.00	368	707		203
9-14.5LT (注4)	7.00	368	711		241
7-17.5LT	5.25	445	758	769	189
8-17.5LT	5.25	445	788	799	199

注1 ラジアルプライのタイヤは、「-」の代わりに文字「R」を付けて識別する（例：6.00R 16 LT）。

2 Dmaxを計算するための係数「b」は1.08とする。

3 総幅はこの値を8%まで上回ることができる。

4 タイヤサイズの呼びで、末尾の「LT」を「MH」と置き換えることができる（例：7-14.5 MH）。

表B

小型トラック用タイヤ（ラジアルプライ及びバイアスプライ）

タイヤサイズの呼び (注1)	測定リム 幅コード	リム径 の呼び d (mm)	外径 D (mm) (注2)		断面幅 S (mm) (注3)
			一般	スノー	
9-15LT	8.00	381	744	755	254
10-15LT	8.00	381	773	783	264
11-15LT	8.00	381	777	788	279
24x7.50-13LT	6.00	330	597	604	191
27x8.50-14LT	7.00	356	674	680	218
28x8.50-15LT	7.00	381	699	705	218
29x9.50-15LT	7.50	381	724	731	240
30x9.50-15LT	7.50	381	750	756	240
31x10.50-15LT	8.50	381	775	781	268
31x11.50-15LT	9.00	381	775	781	290
31x13.50-15LT	11.00	381	775	781	345
31x15.50-15LT	12.00	381	775	781	390
32x11.50-15LT	9.00	381	801	807	290
33x12.50-15LT	10.00	381	826	832	318
35x12.50-15LT	10.00	381	877	883	318
37x12.50-15LT	10.00	381	928	934	318
37x14.50-15LT	12.00	381	928	934	372
8.00-16.5LT	6.00	419	720	730	203
8.75-16.5LT	6.75	419	748	759	222
9.50-16.5LT	6.75	419	776	787	241
10-16.5LT	8.25	419	762	773	264
12-16.5LT	9.75	419	818	831	307
30x9.50-16.5LT	7.50	419	750	761	240
31x10.50-16.5LT	8.25	419	775	787	266
33x12.50-16.5LT	9.75	419	826	838	315
37x12.50-16.5LT	9.75	419	928	939	315
37x14.50-16.5LT	11.25	419	928	939	365
33x9.50R15LT	7.50	381	826	832	240
35x12.50R16.5LT	10.00	419	877	883	318
37x12.50R17LT	10.00	432	928	934	318

注1 ラジアルプライのタイヤは、「-」の代わりに文字「R」を付けて識別する（例：24×7.50R13LT）。

- 2 Dmaxを計算するための係数「b」は1.07とする。
- 3 総幅はこの値を7%まで上回ることができる。

表C

5度テーパードリム又は平底ドリムに組み付けられるタイヤ(ラジアルプライ及びバイアスプライ)

タイヤサイズの呼び (注1)	測定リム幅 コード	リムの呼び d (mm)	外径 D (mm) (注2)			断面幅 S (mm) (注3)
			一般		スノー	
			(a)	(b)		
6.50-20	5.00	508	878		893	184
7.00-15TR	5.50	381	777		792	199
7.00-18	5.50	457	853		868	199
7.00-20	5.50	508	904		919	199
7.50-15TR	6.00	381	808		825	215
7.50-17	6.00	432	859		876	215
7.50-18	6.00	457	884		901	215
7.50-20	6.00	508	935		952	215
8.25-15TR	6.50	381	847	855	865	236
8.25-20	6.50	508	974	982	992	236
9.00-15TR	7.00	381	891	904	911	259
9.00-20	7.00	508	1019	1031	1038	259
10.00-15TR	7.50	381	927	940	946	278
10.00-20	7.50	508	1054	1067	1073	278
10.00-22	7.50	559	1104	1118	1123	278
11.00-20	8.00	508	1085	1099	1104	293
11.00-22	8.00	559	1135	1150	1155	293
11.00-24	8.00	610	1186	1201	1206	293
11.50-20	8.00	508	1085	1099	1104	296
12.00-20	8.50	508	1125		1146	315
12.00-24	8.50	610	1226		1247	315
14.00-20	10.00	508	1241		1266	375
14.00-24	10.00	610	1343		1368	375

注1 ラジアルプライのタイヤは、「-」の代わりに文字「R」を付けて識別する（例：6.50R 20）。

- 2 Dmaxを計算するための係数「b」は1.06とする。(a) は深溝、(b) は一般溝を示す。
- 3 総幅はこの値を6%まで上回ることができる。

表D

特殊用途タイヤ（ラジアルプライ及びバイアスプライ）

タイヤサイズの呼び (注1)	測定リム幅 コード	リムの呼び d (mm)	外径 D (mm) (注2)		断面積 S (mm) (注3)
			(a)	(b)	
10.00-20ML	7.50	508	1073	1099	278
11.00-22ML	8.00	559	1155	1182	293
13.00-24ML	9.00	610	1302	—	340
14.00-20ML	10.00	508	1266	—	375
14.00-24ML	10.00	610	1368	—	375
15-19.5ML	11.75	495	1019	—	389
24R21	18	533	1372	—	610

- 注1 Dmaxを計算するための係数「b」は1.06とする。
- 2 (a) は一般溝、(b) は深溝を示す。
 - 3 総幅はこの値を8%まで上回ることができる。

表E

15度テーパリムに組み付けられる

タイヤサイズの呼び (注1)	測定リム幅 コード	リムの呼び d (mm)	外径 D (mm) (注2)			断面幅 S (mm) (注3)
			一般		スノー	
			(a)	(b)		
8－19.5	6.00	495	859		876	203
8－22.5	6.00	572	935		952	203
9－22.5	6.75	572	974	982	992	229
10－22.5	7.50	572	1019	1031	1038	254
11－22.5	8.25	572	1054	1067	1073	279
11－24.5	8.25	622	1104	1118	1123	279
12－22.5	9.00	572	1085	1099	1104	300
12－24.5	9.00	622	1135	1150	1155	300
12.5－22.5	9.00	572	1085	1099	1104	302
12.5－24.5	9.00	622	1135	1150	1155	302
14－17.5	10.50	445	907		921	349 (注4)
15－19.5	11.75	495	1005		1019	389 (注4)
15－22.5	11.75	572	1082		1095	389 (注4)
16.5－22.5	13.00	572	1128		1144	425 (注4)
18－19.5	14.00	495	1080		1096	457 (注4)
18－22.5	14.00	572	1158		1172	457 (注4)

注1 ラジアルプライのタイヤは、「-」の代わりに文字「R」を付けて識別する（例：8R19.5）

- 2 Dmaxを計算するための係数「b」は1.05とする。(a)は浅溝、(b)は一般溝を示す。
- 3 総幅はこの値を6%まで上回ることができる。
- 4 総幅はこの値を5%まで上回ることができる。

別紙3

タイヤの測定方法

1. タイヤは製作者の指定する測定リムを組み立て、製作者が指定した圧力となるよう空気を充填する。
2. リムに組み立てるタイヤは、少なくとも24時間試験室の温度で調整する。
3. 空気圧を上記1.に規定された値に再調整する。
4. 保護リブ又はバンドの厚さを考慮し、キャリパを使用し等間隔の6点で総幅を測定し、得られた最も大きな測定値を総幅とする。
5. 外径は最大周を測定し、得られた値を3.1416で除し決定する。

別紙4

負荷/速度耐久試験

1. タイヤの準備

- 1.1. 製作者の指定する試験リムに新品タイヤを装着する。
- 1.2. チューブ付タイヤの試験の場合は、新品のチューブ又は新品のチューブ、バルブ及びフラップの組合せを使用する。
- 1.3. 製作者指定の圧力までタイヤに空気を昇圧すること。

1. 4. リムにタイヤを組み立て、試験室の温度で3時間以上調整する。

1. 5. 1. 3. で規定した圧力に空気圧を再調整する。

2. 試験手順

2. 1. リムに組み立てたタイヤを試験軸に取り付け、直径 $1.7\text{m} \pm 1\%$ の平滑試験ドラムの外表面に押しつける。

2. 2. タイヤのサイドウォールに表示されているロードインデックス、又はプライレーティングに対応する最大負荷能力の百分率で表される一連の試験負荷を試験軸にかけること。なお、プライレーティングに対応する最大負荷能力はタイヤの製作者の指定による。

ただし、単輪、複輪双方のロードインデックスのあるタイヤの場合にあっては、試験負荷の基準として、単輪のロードインデックスに対応する最大負荷能力に相当する負荷を試験軸にかけること。

2. 2. 1. 速度記号区分が「Q」以上のタイヤにあっては、3. に規定する試験手順とする。

2. 2. 2. 2. 2. 1. 以外のタイヤについての耐久試験は、付録1に規定する手順とする。

2. 3. タイヤの空気圧は試験中に修正してはならず、試験負荷は3つの試験段階のいずれでも一定に保たなければならない。

2. 4. 試験中試験室の温度は 20°C から 30°C の間、若しくは製作者が同意する場合、それより高い温度に保たなければならない。

2. 5. 耐久試験プログラムは中断なしに実施すること。

3. 速度区分記号が「Q」以上のタイヤに対する負荷／速度試験手順

3. 1. この試験手順は以下に適用する。

3. 1. 1. 単輪でのロードインデックスが121以下と表示される全てのタイヤ

3. 1. 2. 単輪でのロードインデックスが122以上であり、かつ、タイヤサイズの呼びの中に追加表示「C」又は「LT」が含まれているタイヤ

3. 2. 次の3. 2. 1. 又は3. 2. 2. に掲げる負荷を試験軸にかけること。

3. 2. 1. 試験を直径 $1.7\text{m} \pm 1\%$ の平滑試験ドラムで実施する場合にあっては、ロードインデックスに対応する最大負荷の90%。

3. 2. 2. 試験を直径 $2.0\text{m} \pm 1\%$ の平滑試験ドラムで実施する場合にあっては、ロードインデックスに対応する最大負荷の92%。

3. 3. 試験初速度は、速度区分記号に対応する速度から 20km/h 低い速度とする。

3. 3. 1. 試験初速度に達するまでの時間は10分とする。

3. 3. 2. 試験初速度を持続し10分走行する。

3. 4. 第2試験速度は速度区分記号に対応する速度から 10km/h 低い速度とする。

3. 4. 1. 第2試験速度を持続し10分走行する。

3. 5. 最終試験速度は速度区分記号に対応する速度とする。

3. 5. 1. 最終試験速度持続し30分走行する。

3. 6. 総試験時間は1時間とする。

別紙4ー付録1

耐久試験手順

表1 ISO表示の小型トラック用、トラック及びバス用タイヤ

ロード インデックス	速度区分	試験ドラム速度		ロードインデックスに対応する最大負荷の% で示される試験軸にかかる負荷		
		ラジアルプライ min ⁻¹	バイアスプライ min ⁻¹	7h.	16h.	24h.
122以上	F	100	100	66%	84%	101%
	G	125	100			
	J	150	125			
	K	175	150			
	L	200	—			
	M	225	—			
121以下	F	100	100	70	88	106
	G	125	125			
	J	150	150			
	K	175	175			
	L	200	175	4h.	6h.	
	M	250		75%	97%	114%
	N	275	200	75%	97%	114%
	P	300	—	75%	97%	114%

注1 「特殊用途タイヤ」は、同等の一般道路用タイヤに対して規定された速度の85%に相当する速度で試験をすること。

2 ロードインデックスが122以上で速度区分が「N」又は「P」で、かつ、タイヤの呼びの中に追加表示「LT」が含まれているタイヤは、表に示した試験と同様の試験を実施しなければならない。

表2 軽トラック用、8PR以下の小型トラック用、8PR以下のトラック及びバス用タイヤ

タイヤの区分		軽トラック用	小型トラック用8PR以下		トラック・バス用 8PR以下
リム径の呼び		—	15未満	15以上	—
試験負荷		最大負荷能力×負荷百分率			
試験速度		81km/h			
試験段階	負荷百分率(%)	試験時間 (h)			
1	75	4		7	
2	97	6		16	
3	114	24		24	

表3 10PR以上の小型トラック用、10PR以上のトラック及びバス用タイヤ

タイヤの 区分	冬用及びTBバイアス EHTを除く全種類				冬用及びTBバイアスEHT							
					冬用及びTBバイアス EHTリブ・ラグ				TBバイアスEHTラグ			
PR	10	12	14	16 以上	10	12	14	16 以上	10	12	14	16 以上
試験負荷	最大負荷能力×負荷百分率（%）											
試験速度 (km/h)	65		57	49	57		49	41	49		41	33
試験 段階	試験時 間 (h)	負荷百分率（%）										
1	7	70	66		70	66		70	66			
2	16	88	84		88	84		88	84			
3	24	106	101		106	101		106	101			

表4 断面幅の呼び13. 00以上のトラック及びバス用又はこれに準ずる（注1）タイヤ

試験負荷		最大負荷能力×負荷百分率（％）	
試験速度		最高速度×50％	
試験段階	試験時間 (h)	負荷百分率（％）	
1	7	66	
2	16	84	
3	24	101	

注1 準ずるタイヤとは、断面幅の呼びが13. 00未満であっても、特殊用途のためタイヤメーカーが最高速度を70km/h未満に制限したタイヤをいう。

別紙5

異なる速度における負荷能力

速 度 (km/h)	ロードインデックスの変化（％）									
	ロードインデックス				ロードインデックス ≥ 122 (注1)		ロードインデックス ≤ 121 (注1)			
	速度区分記号				速度区分記号		速度区分記号			
	F	G	J	K	L	M	L	M	N	P ²
0	+150	+150	+150	+150	+150	+150	+110	+110	+110	+110
5	+110	+110	+110	+110	+110	+110	+90	+90	+90	+90
10	+80	+80	+80	+80	+80	+80	+75	+75	+75	+75
15	+65	+65	+65	+65	+65	+65	+60	+60	+60	+60
20	+50	+50	+50	+50	+50	+50	+50	+50	+50	+50
25	+35	+35	+35	+35	+35	+35	+42	+42	+42	+42
30	+25	+25	+25	+25	+25	+25	+35	+35	+35	+35
35	+19	+19	+19	+19	+19	+19	+29	+29	+29	+29
40	+15	+15	+15	+15	+15	+15	+25	+25	+25	+25
45	+13	+13	+13	+13	+13	+13	+22	+22	+22	+22
50	+12	+12	+12	+12	+12	+12	+20	+20	+20	+20
55	+11	+11	+11	+11	+11	+11	+17.5	+17.5	+17.5	+17.5
60	+10	+10	+10	+10	+10	+10	+15.0	+15.0	+15.0	+15.0
65	+7.5	+8.5	+8.5	+8.5	+8.5	+8.5	+13.5	+13.5	+13.5	+13.5
70	+5.0	+7.0	+7.0	+7.0	+7.0	+7.0	+12.5	+12.5	+12.5	+12.5
75	+2.5	+5.5	+5.5	+5.5	+5.5	+5.5	+11.0	+11.0	+11.0	+11.0
80	0	+4.0	+4.0	+4.0	+4.0	+4.0	+10.0	+10.0	+10.0	+10.0
85	-3.0	+2.0	+3.0	+3.0	+3.0	+3.0	+8.5	+8.5	+8.5	+8.5
90	-6.0	0	+2.0	+2.0	+2.0	+2.0	+7.5	+7.5	+7.5	+7.5
95	-10	-2.5	+1.0	+1.0	+1.0	+1.0	+6.5	+6.5	+6.5	+6.5
100	-15	-5.0	0	0	0	0	+5.0	+5.0	+5.0	+5.0
105		-8.0	-2.0	0	0	0	+3.75	+3.75	+3.75	+3.75
110		-13	-4.0	0	0	0	+2.5	+2.5	+2.5	+2.5
115			-7.0	-3.0	0	0	+1.25	+1.25	+1.25	+1.25
120			-12	-7.0	0	0	0	0	0	0
125						0	-2.5	0	0	0
130						0	-5.0	0	0	0
135							-7.5	-2.5	0	0
140							-10.0	-5.0	0	0
145								-7.5	-2.5	0
150								-10.0	-5.0	0
155									-7.5	-2.5
160									-10.0	-5.0

注1 単輪のロードインデックスを引用する。

- 2 最高速度が160km/hを超えるタイヤの場合の荷重変化は許されない。また、速度区分が「Q」以上の場合、最高速度は速度区分に対応する速度を示す。